

株 主 の 皆 様 へ



第102期 中間報告書

2016年1月1日 ▶ 2016年6月30日

JUKI 株式会社

証券コード: 6440

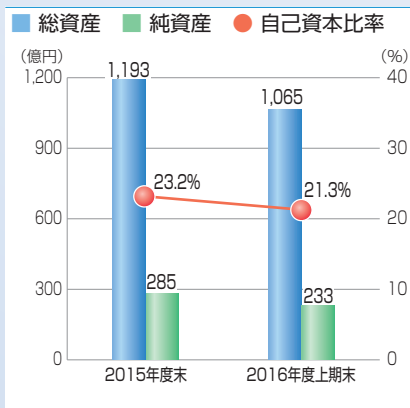
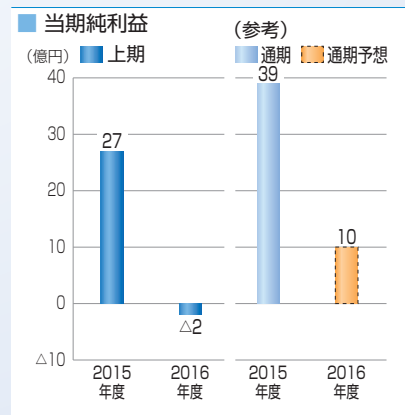
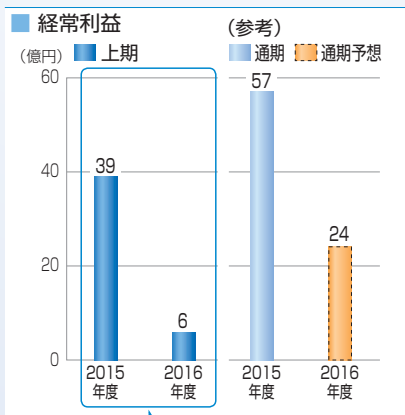
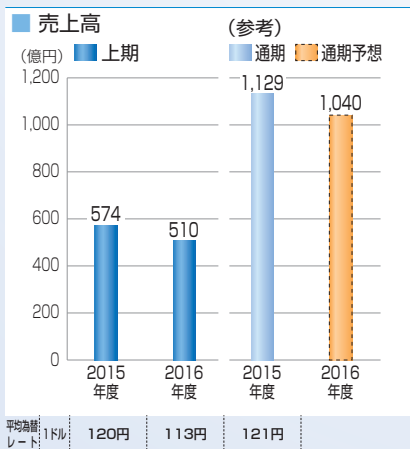
業績のポイント

売上高 510億円 (前年同期比 64億円の減少)

経常利益 6億円 (前年同期比 33億円の減少)

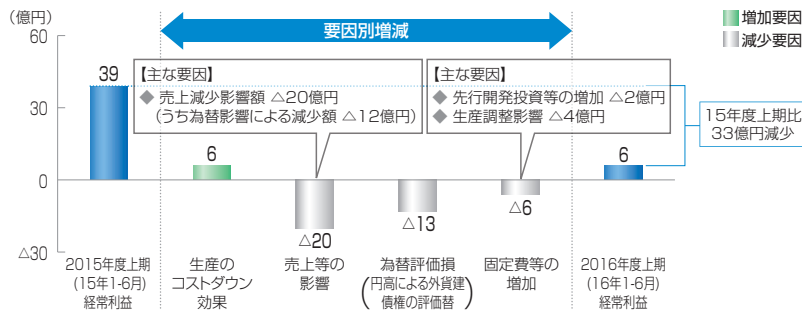
当期純利益 △2億円 (前年同期比 29億円の減少)

売上高は、ソリューション営業を強化し自動化・省力化の提案活動に取り組みましたが、中国経済の減速や原油安など世界経済の不透明感が高まり景気の停滞が続く中で、円高が急速に進んだことなどから、前年同期比11.1%の減収。利益面は、生産のコストダウン効果はあったものの、売上の減少などの影響や大幅な円高による為替評価損の発生により経常利益は84.6%の減益。



2016年度上期 前年同期比 経常利益増減要因

生産のコストダウン効果はあったが、売上減少の影響や為替評価損などにより、前年同期比減益



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第102期 中間報告書（2016年1月1日から2016年6月30日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当期において、当社は、しっかりとした事業基盤を構築し、事業領域を拡大するためにソリューション営業を強化し顧客に対する自動化・省力化の提案活動の幅を広げていく活動に取り組んでまいりました。しかしながら、中国経済の減速や原油安など世界経済の不透明感が高まり景気の停滞が続く中で、米国金利の状況に加えて、直近では英国のEU離脱などにより円高が急速に進んだことなどから、売上高は509億9千1百万円となりました。

利益面につきましては、生産面でのコストダウンの効果はあったものの、売上の減少や利益率の低下などが影響したことから営業利益は20億2千8百万円となりました。また、前年度末と比べて大幅に円高ドル安に転じたことで外貨建債権の評価替による差損が営業外費用として発生したことなどから経常利益は6億6百万円となりました。これにより繰延税金資産の回収可能性の見直しで4億9千5百万円の税金費用が発生したことなどで当期純損失は2億3千2百万円となりました。

中間配当につきましては、当初は1株につき10円を予想しておりましたが、当期の業績を勘案し、誠に遺憾ながら、見送りとさせていただきます。また、期末配当につきましても、当初は1株につき25円を予想しておりましたが、通期連結業績予想の修正を踏まえ、1株につき20円の配当予想に修正させていただきます。株主の皆様には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当社のお客様である縫製工場や電子工場は、自動化・デジタル化・システム化の技術革新の波に晒され、大きな転換点を迎えています。

当社は、経営の重点の一つとして「製品・サービス競争力の強化」を掲げており、お客様の自動化・デジタル化・システム化のニーズに対してスマートソリューションによるラインソリューション提案を更に拡大することで、業績の進展をはかってまいります。

具体的には、この下期において、縫製機器事業は、業種戦略・地域戦略の強化により売上・利益とも成長を確保するとともに、産業装置事業は構造改革による固定費削減とソリューション営業による収益回復をはかることで、利益重視の経営を進めてまいります。また、在庫削減や有利子負債の削減にも積極的に取り組み、財務基盤の強化を更に進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



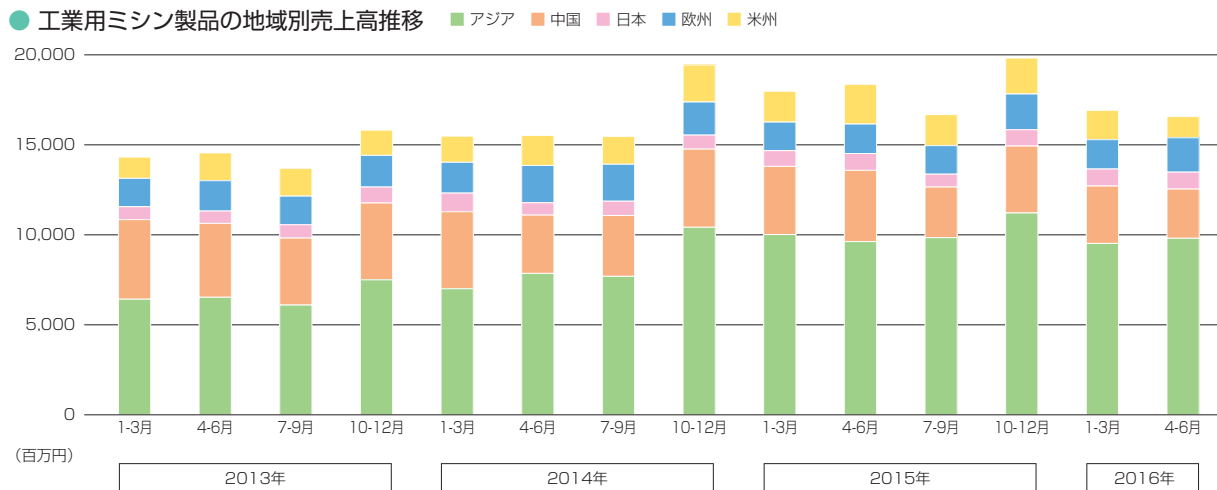
代表取締役

清原 晃

縫製機器事業

市場別ではバングラデシュ・インドなどの新興国では売上が拡大したものの中国や米州での売上が低迷したこと、製品別ではソリューション営業による自動機やパーツの売

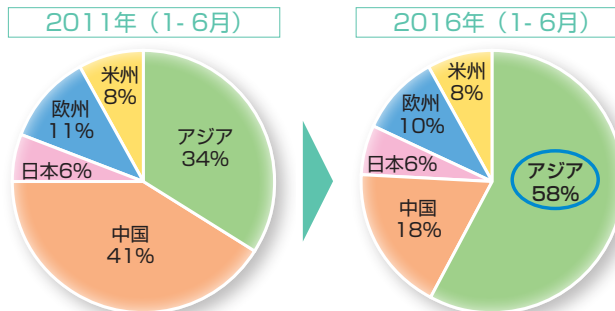
上に成果が見られたものの、前年同期と比べて円高で推移したことなどから、縫製機器事業全体の売上高は394億7千6百万円（対前年同期比8.0%減）となりました。



● 売上高(工業用マシン製品):前年同期比較(単位:億円)

	2015年 (1-6月)	2016年 (1-6月)	増減額
アジア	196	194	△ 2
中国	78	59	△ 19
日本	18	19	1
欧州	32	35	3
米州	39	28	△ 11
合計	363	335	△ 28

● 売上高構成比率:2011年(5年前)との比較

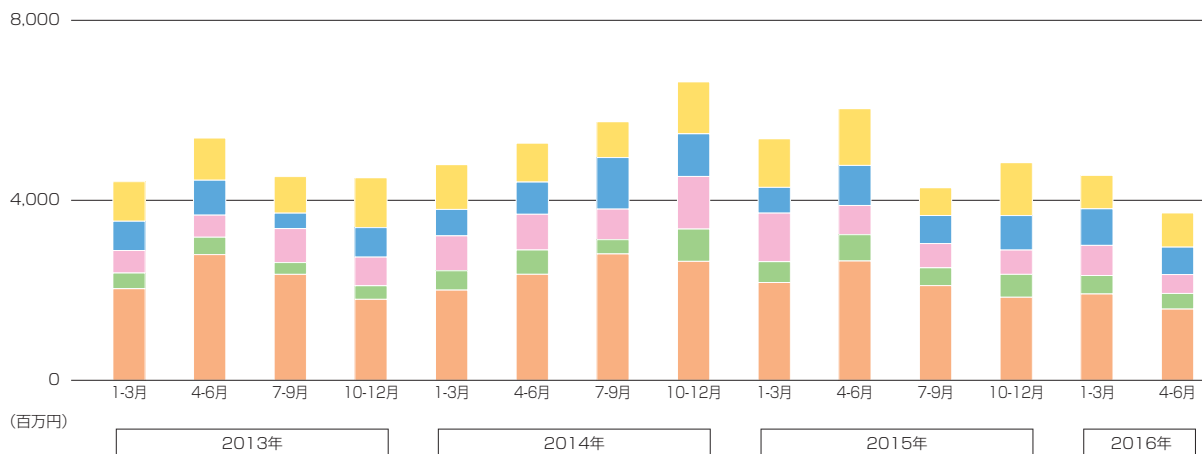


産業装置事業

市場別では最大の市場である中国や米州での売上が減少したこと、製品別ではラインソリューション戦略で展開する新型マウンタ、検査機や省力化設備などの売上は伸び

たものの既存マウンタの落ち込み分をカバーできず、産業装置事業全体の売上高は82億7千4百万円（対前年同期比27.4%減）となりました。

● 地域別売上高推移 ● 中国 ● アジア ● 日本 ● 欧州 ● 米州



● 売上高：前年同期比較

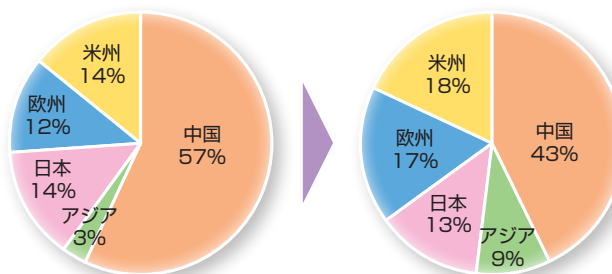
(単位：億円)

	2015年 (1-6月)	2016年 (1-6月)	増減額
中国	47	35	△ 12
アジア	12	8	△ 4
日本	18	11	△ 7
欧州	15	14	△ 1
米州	22	15	△ 7
合計	114	83	△ 31

● 売上高構成比率：2011年（5年前）との比較

2011年 (1-6月)

2016年 (1-6月)

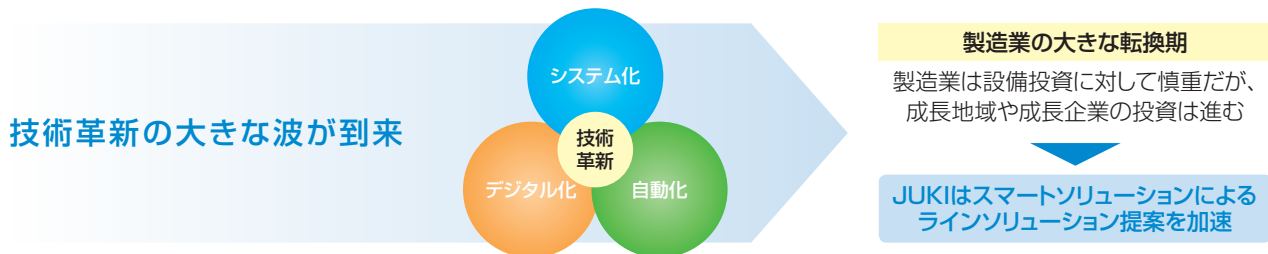


2016年度下期の経営環境と通期業績予想

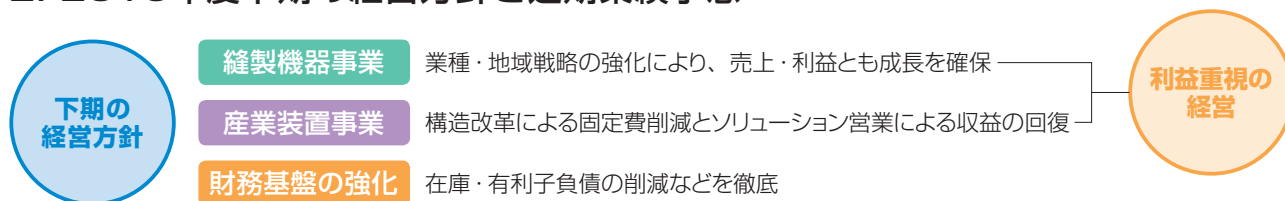
1. 経営環境

- ヨーロッパ** 英国のEU離脱
- 米国** 経済成長の安定性に欠け、金利引き上げを躊躇
- 中国** 減速経済が続く
- 地政学リスク** IS等のテロや地域紛争

世界経済は不透明感が増し、景気の停滞が続く
➔ 円高基調が進む



2. 2016年度下期の経営方針と通期業績予想



【通期業績予想】

(億円)

	2016年度 上期 (1-6月) 実績	2016年度 下期 (7-12月) 予想	2016年度 通期 (1-12月) 予想*
売上高	510	530	1,040
（縫製機器）	(395)	(410)	(805)
（産業装置）	(83)	(85)	(168)
営業利益	20	22	42
経常利益	6	18	24
（縫製機器）	(34)	(30)	(64)
（産業装置）	(△11)	(0)	(△11)
当期純利益	△2	12	10
為替レート	1ドル=113円 1ユーロ=125円	1ドル=105円 1ユーロ=110円	※2016年8月3日に通期業績 予想を修正させて頂きました

1. 工業用ミシンの重点施策

業種戦略

- 布帛
- 自動機
- ニット
- ノンアパレル

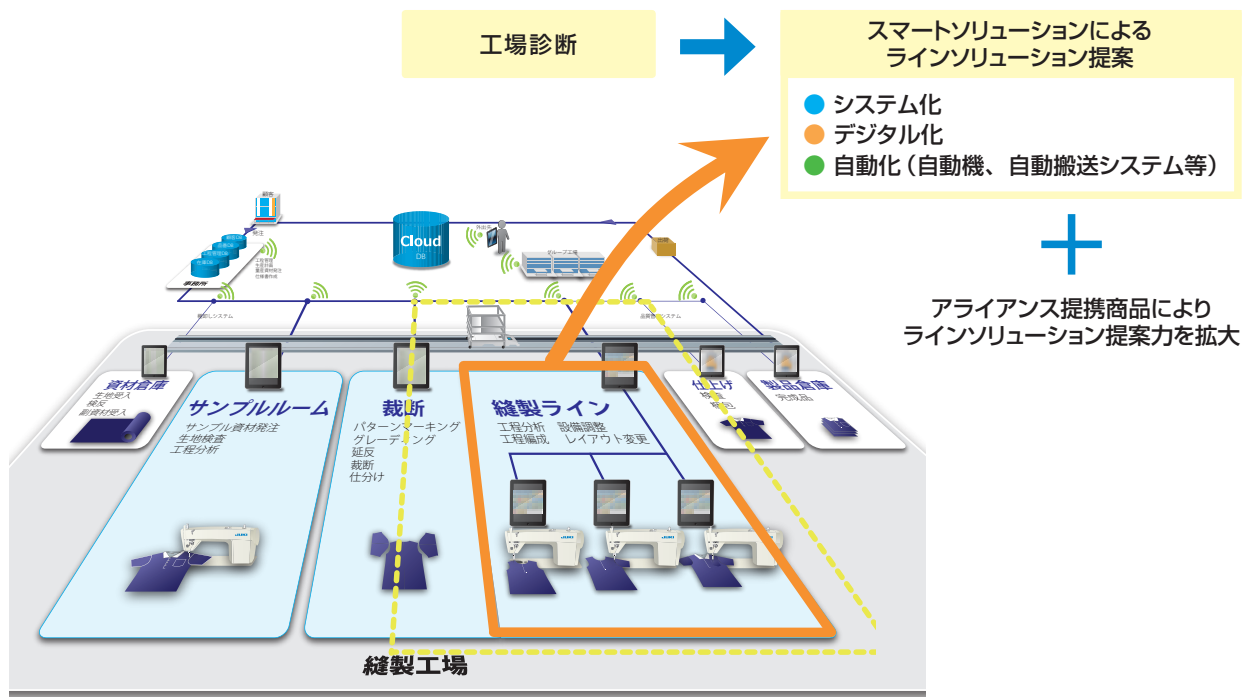
布帛の新製品（デジタルミシンDDL-9000C）をベースにした、
ラインソリューション提案により、
自動機・ニット・ノンアパレル分野を更に拡大

地域戦略

成長する新興国市場での販売拡大
 バングラデシュ、ベトナム、インドネシア、中近東・アフリカ、中南米

▶ スマートソリューションによるラインソリューション営業により、全地域・全業種で成長を加速する

2. ラインソリューション提案の拡大



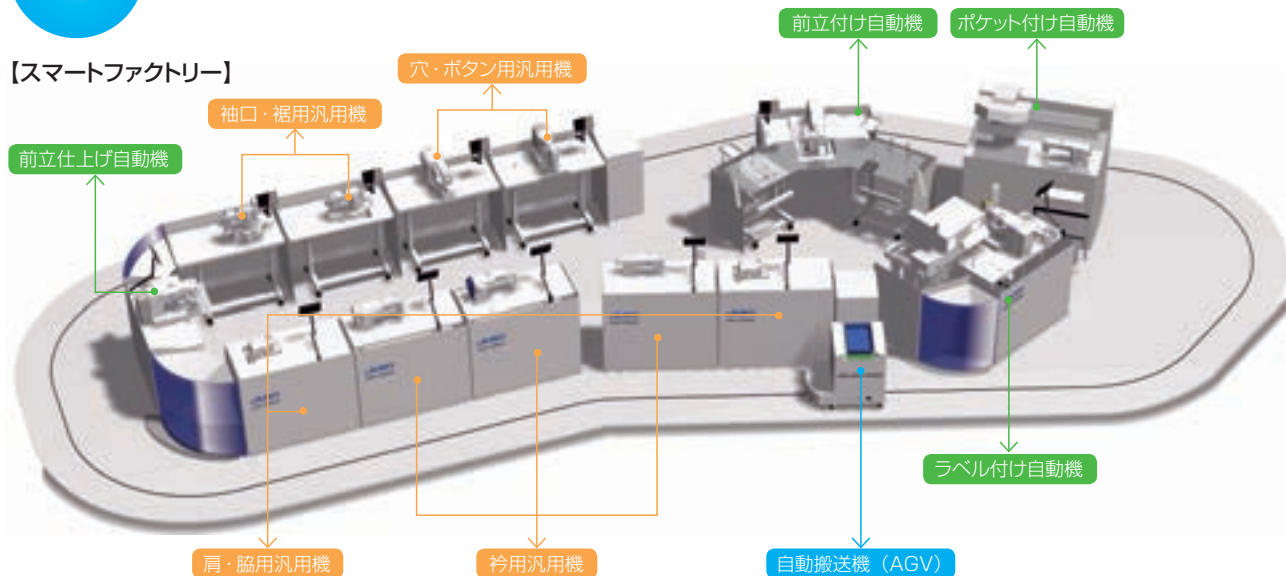
3. システム化の取り組みについて

システム化

ラインソリューション提案による「スマートファクトリーライン」の構築

→人と設備を融合し、生産性が高く、人と環境にやさしい工場を提案

【スマートファクトリー】



【ポロシャツ縫製ラインの例】

縫製工場でのデジタル化・自動化・自動機導入に加えシステム化により、通常は13人のオペレーターが必要となるところ、4人での縫製が可能となり、生産性を2倍に向上することができる

4. デジタル化の取り組みについて

デジタル化

DDL - 9000C 8月新発売

ダイレクトドライブ高速本縫自動糸切りソーイングシステム

メカ式
調整

デジタル
調整



送り歯やテンションなどの調整がタブレットからのデータ転送により一瞬ででき、縫いの調整時間が大幅短縮

1. 家庭用ミシンの重点施策

新製品およびキルト分野の販売強化

製品戦略

- 家庭用ミシン**
 - 新製品の販売拡大
 - 手芸量販店、路面店等での販売強化
- 小型ロック**
 - 新製品の販売拡大
 - キルトユーザー向けロックミシンの販売拡大
- 職業用・キルト**
 - キルトミシンQVPのシリーズ化による販売拡大

地域戦略

- 日本、米国、欧州で、新製品やキルトミシンなど高付加価値製品を中心に販売拡大
- 新興国の販売網を整備・拡充

2. 家庭用ミシンの重点分野

ホビーや職業用ミシンを重点分野と位置付け、特徴のあるビジネスモデルを構築

ホビー			職業用
			
キルトミシン・フレームタイプ（立ちタイプ） TL-2200QVP	キルト用コンピュータミシン DX-2000QVP	キルト用小型ロックミシン MO-2000QVP	職業用ミシン TL-2200QVP Mini

ニーズに応えるマーケティング活動を展開

1. 産業装置の重点施策

マウンタ単体販売

事業領域の 拡大

スマートソリューションによるラインソリューション営業により拡大事業領域での販売拡大

- ・インテリジェントストレージ管理システム
- ・生産サポートシステム
- ・検査機・印刷機
- ・省力化設備

事業構造 改革

- 技術革新の波に対応した営業体制の再構築と組織の効率化により収益改善
- ソリューション営業強化による拡大事業領域での販売拡大により収益改善

2. ラインソリューション提案の拡大

システム化

生産サポートシステムの導入による
実装フロア全体のシステム化を推進

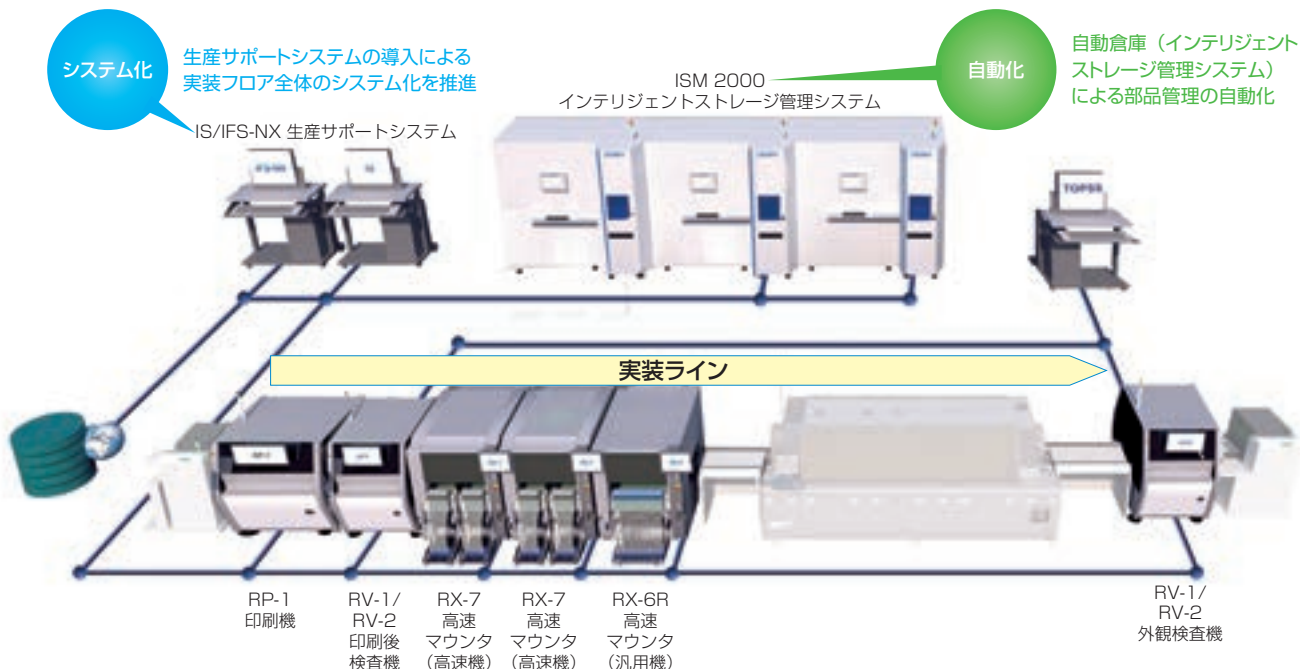
IS/IFS-NX 生産サポートシステム

自動化

自動倉庫（インテリジェント
ストレージ管理システム）
による部品管理の自動化

ISM 2000
インテリジェントストレージ管理システム

実装ライン



RP-1
印刷機

RV-1/
RV-2
印刷後
検査機

RX-7
高速
マウンタ
(高速機)

RX-7
高速
マウンタ
(高速機)

RX-6R
高速
マウンタ
(汎用機)

RV-1/
RV-2
外観検査機

1. グループ事業の重点施策

事業拡大に向けた取り組み

他社からの
受託加工事業

ロストワックス・MIM	素材系 部品
鋳造	
機械加工	加工部品
ユニット・組立	完成品

グループ事業のネットワークと生産技術を生かし、国内大手メーカーを中心に受注が拡大中

自社製品

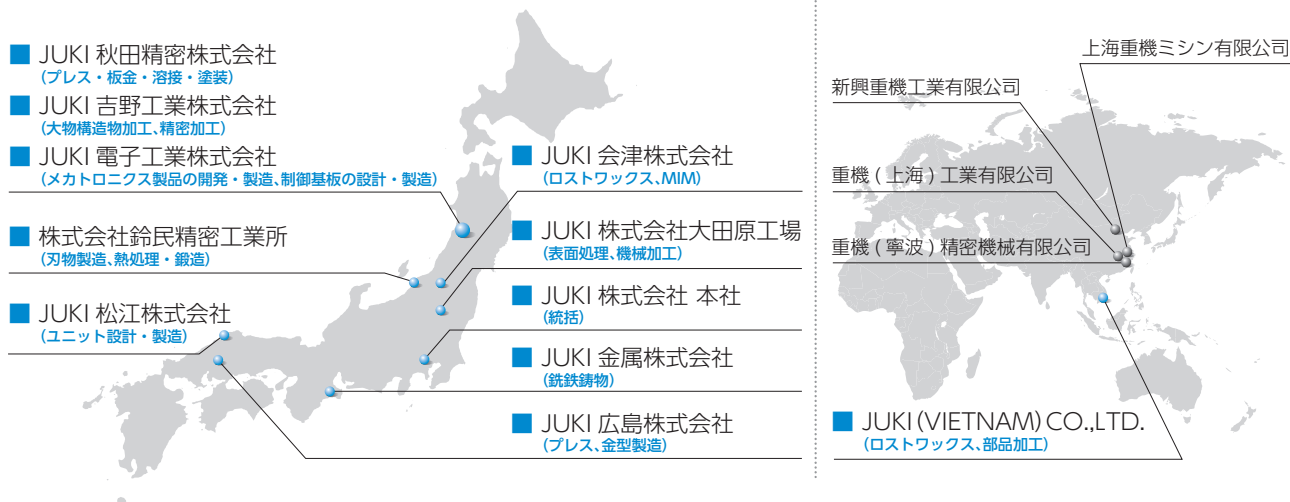
10月発売
予定

「分光測色計」の開発・生産・販売
LEDを発光源とした小型の測色計です。色をデジタルで数値化できるため、色の再現が容易に行えます。



2. グループ事業のネットワーク

国内9社、海外1社により受託加工事業を更に拡大 → 第三の事業セグメントへ



中間連結財務諸表（要旨）

中間連結貸借対照表

(百万円)

科目	前期 2015年12月31日現在	当第2四半期 2016年6月30日現在	増減
資産の部			
流動資産	86,958	75,962	△ 10,996
固定資産	32,323	30,493	△ 1,829
資産合計	119,281	106,455	△ 12,825
負債の部			
流動負債	64,436	58,823	△ 5,613
固定負債	26,367	24,375	△ 1,991
負債合計	90,803	83,198	△ 7,604
純資産の部			
株主資本	27,873	26,355	△ 1,517
その他の包括利益累計額	△ 194	△ 3,642	△ 3,448
非支配株主持分	799	543	△ 255
純資産合計	28,477	23,256	△ 5,220
負債純資産合計	119,281	106,455	△ 12,825

中間連結損益計算書

(百万円)

科目	前第2四半期 2015年1月1日から 2015年6月30日まで	当第2四半期 2016年1月1日から 2016年6月30日まで	増減
売上高	57,369	50,991	△ 6,377
売上原価	39,273	35,995	△ 3,277
売上総利益	18,096	14,996	△ 3,100
販売費及び一般管理費	13,869	12,967	△ 901
営業利益	4,227	2,028	△ 2,198
営業外収益	504	551	46
営業外費用	789	1,973	1,184
経常利益	3,943	606	△ 3,336
特別利益	9	367	358
特別損失	14	230	215
税金等調整前四半期純利益	3,937	744	△ 3,193
法人税等	1,227	1,169	△ 57
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,710	△ 425	△ 3,135
非支配株主に帰属する四半期純損失(△) △	9	△ 193	△ 183
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,719	△ 232	△ 2,952

会社情報 (2016年6月30日現在)

■ 会社概要

商号	JUKI株式会社
創立	1938年12月15日
資本金	180億4,471万円
本社	東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
決算期	12月
営業品目	工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他
従業員数	6,153名（連結）
連結子会社数	31社

■ 株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 80,000,000株
- 発行済株式総数…………… 29,874,179株
- 株主数…………… 13,948名

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
TEL: 042-357-2211

<http://www.juki.co.jp>

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,174	3.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	966	3.23
株式会社みずほ銀行	938	3.14
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	880	2.95
日本生命保険相互会社	732	2.45

■ 所有者別株式分布状況

